

生物資源学部アセスメント・ポリシー

(目的)

- (1) 生物資源学部では「三重大学アセスメント・ポリシー」に基づき、学位授与（ディプロマ・ポリシー）で示された教育目標への到達度を高めるために生物資源学アセスメントを実施する。本ポリシーでは生物資源学アセスメントを実施する際の基本方針を定める。

(実施体制)

- (2) 生物資源学アセスメント実施責任者は学部長とする。
- (3) 生物資源学アセスメントについては、別に定める生物資源学部アセスメントポリシー体制図のとおり実施する。

(実施及び分析)

- (4) 生物資源学アセスメントは、別に定めるアセスメントチェックリストにより実施する。
- (5) 生物資源学アセスメントの総合評価は、毎年実施する。
- (6) 評価結果を参考とした教育改革の内容については積極的に公表する。
- (7) 生物資源学アセスメント実施によって取得したデータの取扱いについては、国立大学法人三重大学個人情報保護規程に基づき適切に処理する。

生物資源学部アセスメント・チェックリスト

学位授与水準 (DP)

DP1	幅広い教養と倫理観、国際感覚を身につけ、豊かな人間性を有している。
DP2	生命、環境、食料、健康等に関する生物資源学の基本的な知識と技術、経験を有している。
DP3	科学的で論理的な思考を展開することができ、計画的に問題の解決に取り組むことができる。
DP4	豊かなコミュニケーション能力を持ち、他者と協力して行動することができる。
DP5	社会の変化に柔軟かつ自律的に対応し、発展的に生きていくことができる。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	DPに沿ったカリキュラムの編成	1月～ 次年度4月	毎年	1-4年生	①シラバス 1. 達成目標 2. 達成目標とDPとの対応関係 3. 成績評価基準 4. 成績評価手法 ②カリキュラム・マップ	①シラバス査読により、左記1～4の項目について、DPに沿った内容が記載され、公開されていることを確認する。 ②DPに定められた資質・能力を獲得する過程を明らかにし、DPに定められた資質・能力を身に付けることができるカリキュラムであることを確認する。	①②学部教務委員会	DP・シラバス作成の手引き・シラバス記載項目・授業内容・カリキュラムの改定・改訂の必要性について検討・改善。 <教学マネジメント関連項目> ・各授業科目における到達目標の達成状況 ・授業の方法や内容・授業計画（シラバスの内容） ・カリキュラムマップ、カリキュラムツリー等の活用状況	生物資源学部
2	DPに定められた資質・能力を修得するための学習環境と就学支援体制	2月～ 次年度6月	毎年	1-4年生	①教育満足度調査 1. 学習環境および施設整備 2. カリキュラム 3. 進路支援 4. 学生サポート体制 5. 授業評価 ②進学率および就職率 ③就学カウンセラーおよび指導教員1人あたりの指導学生数	①～③の結果を確認し、DPに定められた資質・能力を修得するための環境が適切であるかを確認する。	①学部教務委員会 ②インターンシップ・就職支援委員会 ③学生委員会	カリキュラム・学生指導体制・学習環境について検討・改善する。 <教学マネジメント関連項目> ・学生成長実感・満足度 ・教員一人あたりの学生数	生物資源学部
3	DPに定められた資質・能力の修得度～学びはじめ～	4月、3月	毎年	1-2年生	①1年次ガイダンス 1. 共通教育の理念と履修方法 2. 専門教育科目の初年次教育（生物資源学総論） 3. PBL形式の授業 4. キャリア形成 ②TOEIC IPテスト ③生物資源学総論およびスタートアップPBLセミナー ④教育コースの選択状況	①ガイダンス内容に左記1～4が含まれていることを確認した上で、ガイダンスの出席状況を確認し、DP1およびDP5の修得状況を確認する。 ②受験者数・率を確認し、DP1の修得状況を確認する。 ③履修状況を確認し、DP2およびDP4の修得状況を確認する。 ④就学カウンセラー担当学生名簿により教育コースの選択状況を確認し、DP3の修得状況を確認する。	①②③学部教務委員会 ④学生委員会	ガイダンス内容・カリキュラムについて検討・改善する。 <教学マネジメント関連項目> ・語学力検定等の学外試験のスコア	生物資源学部

4	DPに定められた資質・能力の修得度 ～中間評価～	3月～ 来年度6月	毎年	2年生	①進級判定 1. 教養教育科目 2. 生物資源学総論 3. FSC体験演習およびスタートアップPBLセミナー ②指導教員の決定	①進級判定の結果から、左記1～3の修得状況を確認し、DP1・DP2・DP4・DP5の能力の修得の中間状況を確認する。 ②就学カウンセラー担当学生名簿により、指導教員の決定状況を確認し、DP3の修得状況を確認する。	①学部教務委員会 ②学生委員会	カリキュラム・学生指導体制について検討・改善する。 <教学マネジメント関連項目> ・各授業科目における到達目標の達成状況	生物資源学部	
5	DPに定められた資質・能力の修得度 ～卒業時評価～	3月～ 次年度6月	毎年	4年生	①卒業判定 1. 教養教育科目 2. 英語Ⅰ 3. TOEIC 4. 技術者倫理 5. 卒業研究 6. 専門教育科目 7. 必修の実験実習 ②教育的インターンシップの認定	①卒業判定の結果から、左記1～7の修得状況を確認し、すべての卒業予定者がDP1～4の能力を修得しているかを確認する。 ②教育的インターンシップの認定状況を確認し、すべての卒業予定者がDP5の能力を修得しているかを確認する。	①学部教務委員会 ②インターンシップ・就職支援委員会	カリキュラムについて検討・改善する。 <教学マネジメント関連項目> ・各授業科目における到達目標の達成状況	生物資源学部	
6	DPに定められた資質・能力の修得度 ～アドバンス～	3月～ 次年度6月	毎年	4年生	①三重創生ファンタジスタ修了者数 ②資格取得状況 1. 学芸員 2. 食品衛生管理者及び監視員（有資格者） 3. 樹木医補（資格申請可能者） 4. 測量士補（資格申請可能者） 5. JABEE修習技術者 ③学会等学外発表・学内発表 ④ピアサポート活動実績 ⑤生物資源学インターンシップの認定	①修了者数を教務チームに確認し、生物資源学部におけるDP1の能力の発展的な内容を修得している学生状況を確認する。 ②左記1～5の資格の取得者数・有資格者数・資格申請可能者数を確認し、生物資源学部におけるDP2の能力の発展的な内容を修得している学生状況を確認する。 ③実績のある学生数を聞き取りにより確認し、生物資源学部におけるDP3の能力の発展的な内容を修得している学生状況を確認する。 ④ピアサポート活動の実施活動について確認し、生物資源学部におけるDP4の能力の発展的な内容を修得している学生状況を確認する。 ⑤生物資源学インターンシップの認定状況を確認し、生物資源学部におけるDP5の能力の発展的な内容を修得している学生状況を確認する。	①②③⑤学部教務委員会 ④学生委員会	カリキュラム・学生指導体制について検討・改善する。 <教学マネジメント関連項目> ・各授業科目における到達目標の達成状況 ・資格取得や受賞、表彰歴等の状況	生物資源学部	
7	学生および卒業生の成長実感と満足度	3月～ 次年度6月	毎年	1-4年生	①学びの振り返りアンケート 1. 科目の満足度 2. 4つの力の成長実感 3. 時間外学修時間 ②卒業生アンケート 1. カリキュラムの満足度 2. DPに定められた資質・能力の修得度 3. 進学・就職活動時に役立った資質・能力	①～②の結果をもとに学部教務委員が分析を行い、学生および卒業生の成長実感と満足度を確認する。	①②学部教務委員会	カリキュラム・学習環境について検討・改善する。 <教学マネジメント関連項目> ・学生の成長実感・満足度 ・卒業生からの評価		
	総合評価	～次年度の 7月	毎年	1-4年生	・全分野	FD委員会が改善案を取りまとめの上、教授会で承認	学部長	生物資源学部のHP上で公開する	生物資源学部	